

開催レポート「日本財団 災害に備えるワークショップ in 宮城県丸森町」

日時：2022年5月20日（金）15:00～18:00

場所：旧丸森町立大内小学校

住所：宮城県伊具郡丸森町大内字横手18

テーマ：「災害をとおして地域の未来を考える」

開催内容

<p>1. 開会挨拶 (日本財団 前田晃)</p>	
<p>2. 主賓ご挨拶 (丸森町長 保科郷雄氏)</p>	
<p>3. 趣旨説明 (日本財団 災害対策事業部 藤重香弥子)</p>	
<p>4. 丸森町被災状況について (丸森町復興対策室 阿部憲裕氏)</p>	
<p>5. 社会福祉協議会の事例 「災害ボランティアセンター」 (丸森町社会福祉協議会 加藤一聖氏)</p>	

6. 取組をつなぐ事例

「西予市～丸森町～熱海市～」

((一社)Jump 千葉泰彦氏)



7. 行政の事例

「被災者支援の取り組み」

(丸森町復興対策室 八巻舞子氏)



8. パネルディスカッション

「災害をきっかけに考えたこと」

- ・「住民による備えと心構え」

(自主防災組織副会長 穴戸克美氏)

- ・「平時のコミュニティ～きずな市」

(小斎まちづくりセンター 戸村哲夫氏)

- ・「台風19号・福島県沖地震における被災地支援」

((一社)OPEN JAPAN 肥田浩氏)

- ・「災害時の活動～地域コミュニティ支援」

((特)日本ファシリテーション協会 災害復興委員会 遠藤智栄氏)



9. ワークショップ

「災害をとおして地域の未来を考える」



10. 閉会挨拶と事務連絡（アンケートのご案内等）

2022年5月20日(金)丸森町にて日本財団 災害に備えるワークショップを開催いたしました。(一社)OPEN JAPAN に全面的にご協力をいただき、当日は、丸森町と丸森町社会福祉協議会の後援のもと、丸森町長、副町長、地域住人、行政、社協、県関係者、熊本県や広島県、長野県など県内外の災害支援 NPO、地域 NPO など、登壇者や関係者を含めて総勢 54 名の方々にご参加いただきました。

東日本大震災、令和元年台風 19 号、そして昨年と今年の福島県沖地震と度重なる災害を経てきた丸森町に関わる登壇者の皆さまには、それぞれの立場からこれまでの事例を発表いただきました。また、災害をとおして感じたことを主題に地域の方を中心にパネルディスカッションを行いました。最後に「災害をとおして地域の未来を考える」と題したワークショップを実施し、参加者が 7 つのグループに分かれて「地域の未来に残していきたい活動やこれから取り組みたい活動」などについて、1 つのテーマを具体化したものを最後に発表しました。全体で 3 時間を超える会でしたが、「リアルに対面で話せるのは楽しい」「スピーディーなワークショップも楽しかった」「地域で平時から協力して助け合ってこれからの災害に備えたい」などの感想が寄せられました。

コロナ禍により実際に多くの人数が集まるのが難しい時期が続いておりましたが、久々に顔をあわせて地域のことを語り合う場の貴重さと大切さを再認識いただけないかと思っております。ご参加いただいた皆さんが笑顔で会場を後にされていった姿に勇気づけられました。日本財団では、今後も災害への備えを目的とした同様のワークショップや講習会を各地で開催していきます。ご参加、ご協力いただきました皆さま、本当にありがとうございました。

以上

日本財団 災害対策事業部 藤重